

## あおぞらだより

第 167 号 (発行/平成 29 年 4 月)

院長 古希のお祝い

E棟 誕生会

### 古希

江戸川病院院長 新村ヨシオ



オオシマザクラ (院庭)

古希は数え年で 70 才の称である。杜甫の詩の一節「人生 70 古来稀なり」が由来となっている。人生の節目には、還暦・古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿などの呼称がある。昔は還暦を迎えるとめずらしく、一族で祝う習慣があった。しかし、衣食住はじめ生活環境の改

善、医学の発展、国民皆保険、健康思想の啓蒙などの充実で寿命が伸びて、還暦は当然になってきた。それどころか、還暦で定年扱いされず、65 才まで働くようにと年金は支給されない仕組みに変えられてしまった。体力、知力は個人差があり一律に 65 才定年制を布くのは問題はあるが、健康な人は生活に充実感が得られることもあって、自身を労働に駆り立てられる人も多いと思われる。還暦になっても何の特典もない。現状を考えると還暦になってもめでたいことはなく、64 才まで何の恩恵も受けられないが、65 才になると年金が支給される。まだひよこなのだろう。古希になるまで年毎に訃報も多く、長生きできてると実感している。自身が物心がついた頃に、周囲の大人達は 70 才を超えた人を羨ましいと語っていたことを思い出

し、それが長寿の基準となっているのだが、4月4日に70才になってみると感慨深いものがある。

古希になる以前から自身の年令を1年毎に関心をもっていった。医師会をはじめ、自治体の会議や協議会に出席したり、講演している時の聴衆の姿を見ても自身の年令の高さに気付かされた。それぞれの組織の長も自身よりもかなり年下であり、敬意を払って対応してくれるので、恐縮しきりである。集会や会議そして宴会において上座に案内されても、以前のように遠慮することもなくなった。席に案内されると社交辞令を述べて控え目にしていたが、この年令になると断ることは逆に失礼だし、手間をとらせることになり、わざとらしくも思われるので勧められるまま一言述べて着席するようにしている。会議が始まれば丁重で過分な紹介をうけるが、意見を述べさせられたり、会を総括することにもなり、反面息が抜けなくなって集中しなくてはならないことも多い。会合でも挨拶や乾杯そして中締めいずれかは役が回ってくる。参加する時は指名されることを想定し、挨拶文を考えたり、心構えは万全にして家を出ていくことになる。会の規模にもよるが小さな集まりこそ、何か役が回ってくるので疲れてしまう。

古希の祝いは両親で経験しており、その時の感想の中で「とにかく1日が速い。こんなに速いとは思わなかった。」と述懐していたことを鮮明に憶えている。だから65才頃から注意を向けていたのだが、本当に忙しくなったこともあり、この5年間は実に速かった。医療制度の変更も多く、やっと理解できたかと思ったら、また改革される悪循環に翻弄されていたこともあるし、事務量の増加に苦しめられ、休日返上という生活になっていたからであろう。更に医療は質の向上を求められているので、会議も多くなっているし、課題が浮き彫りになって、実施し検証していくことで病院全体が落ち着かないこともある。会議録をはじめ報告書、稟議書などに目を通すだけでも大変な労力を強いられる。加えて、調査書、意見書、証明書、診断書の類が多く、読むにしても書くにしても、その日に終わらないし毎日不快感を抱き、職場から帰る。もう休診日を利用しないと全ての仕事は終わらない。このように追いたてられた現状も時の経つ速さを実感させていると解釈している。

古希になれば人生の総括を考えなければならないのであろうが、現在の自身にはその余裕はない。世の中の社会構造も動いているし、常に現実と向き合って自身に変化を求められる。責任も重いし細部に目を通し、改善すべき事項に優先順位をつけて、少しでも前進しなければならない。自身だけの職域を守るにも勉強を続けなければならない、かと言って70才の脳はかなり機能低下をきたしており、何回も読まないで記録できない。数か月

経つと、思い出そうにも、どこの記憶の棚に整理したか想起できなくなり、どの本が専門誌に書いてあったかも分からなくなってしまう。古い事柄は記憶できているが、新しいことや言葉や名前などは習得出来ず、もどかしく思っている。日常診療ではまだ困ることはないが、そのうちに依頼されたことや約束したことが忘れやしないかと不安になっているところである。ただ、自身は元気に働けていることを幸せに思うし、みんなのおかげと感謝している。また思いがけず、デイケアメンバーと職員からお祝いを受け心からお礼を述べたい。これからは小さな楽しみを多く見つけて感動し、心豊かに生活を送るつもりである。路傍の草花にも生命力や息吹を感じられるように。

## 新村先生古希おめでとうございます！！

平成29年4月4日、新村先生が70歳のお誕生日をお迎えになりました。古希という節目にあたるということもあり、お祝いをしたいとデイケアのメンバーさんや職員がこっそりと準備を進め、当日サプライズで寄せ書きやプレゼントを渡し、バースデイソングでお祝いしました。

突然のことでびっくりされていた先生ですが、とても喜んでくださいました。

デイケアメンバーさんと職員の寄せ書き





# E棟誕生会



E棟 3月の誕生会は、ボランティアで来ていただいた伊藤様によるクラリネットとアルトサクソフォンの演奏会が行われました。

春の曲を中心に唱歌や歌謡曲など、15曲を披露してくださいました。



患者様からは「音が良かった」、「いろいろな曲が聴けて楽しかった」といった感想が聞かれました。

院庭に咲いた花が会場を華やかにしています。

# 新しい職員が入りました！

今春、新たに医師1名、看護師12名、看護助手3名の合計16名が職員として勤務することになりました。どうぞこれからよろしくお願いいたします。



## 平成29年4月 院内行事のご案内

E棟誕生会 4/8(土) 14時～ 桃源6階

**春の運動会** 4/22(土) 14時～ 院庭(グラウンド)  
(全病棟・デイケア)

※雨天時はひまわり及びD棟機能回復訓練室にて開催

ご家族の皆様のご参加もお待ちしております。

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238)

医療法人社団全生会 江戸川病院  
〒278-0022 千葉県野田市山崎2702  
電話 04-7124-5511(代)  
<http://www.edogawa-hp.com>

編集後記：季節が春になっても寒い日が続きマフラーが手放せないと思っているうちに、江戸川病院のオシマザクラが満開になり、春の訪れを知らせてくれました。新しい職員も増え、今年度も職員一同力を合わせてまいりますので、よろしくお願いいたします。